

# 学校と学区の概要

## 《学 校》

本校は今年度で開校67年目を迎え、これまでの間、知育・徳育・体育の調和のとれた健やかな児童の育成に努めている。今年度は4月15日現在、全6学年のうち2学年と4学年が3学級、1学年、3学年、5・6学年が2学級編制となり、全校児童数は438名である。

児童は素直で明朗快活である。平成18年度より3年間、文部科学省による「特別支援教室構想」の趣旨に基づいて研究開発学校の指定を受け、研究成果を全国に発信した。また、平成23、27、28年度には仙台市特別支援教育実践研究協力校として、全職員で実践研究を行った。

昨年度から学校支援地域本部を立ち上げ、地域との連携も深めている。

## 《学 区》

歌枕を訪ねた松尾芭蕉の旅日記「おくのほそ道」にも記された「玉田横野」は、本校の校歌にも取り入れられている。現在は、かつての田園風景から様相は一変したが、本校の北西側は、かつての丘陵地の面影を今なおとどめている。

また、学区および周辺には、名所・旧跡（東照宮、万寿寺、常磐台霊園、瞑想の松等）の他、仙台市児童相談所、仙台営林署、東北医科薬科大学、東北高校などの官公署や学校等が立地している。

更に、小松島公園・トチノキ公園や「蛸の里」として知られる新堤沼周辺等、都市部にありながら自然環境にも恵まれている。

福祉施設についても、100年以上の歴史を持つ児童福祉施設「仙台キリスト教育児院（丘の家子どもホーム、かりんの家、小松島子どもの家）」や特別養護老人ホーム「シオンの園」、小松島地域包括支援センター等が近隣に所在し、本校との連携や交流を行っている。

## 《校章の由来》



初代木村定雄校長の考えをもとに梅祐男先生（当時仙台工業高校教諭）が校名・校木の松をもとに図案化し、昭和29年6月20日に校歌とともに制定した。

協力と団結をもつ学校の円満な発展を期待し、松の葉で形どった菱形は自主性、科学性、道義性、健康を表徴する。

さらに、外側は松の新芽を表し、子供たちの調和と統一ある人間形成と健やかな成長への願いがこめられている。

## 全校児童数・学級数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校児童数
児童数	71	82	70	89	61	65	438名
学級数	2	3	2	3	2	2	

（令和2年4月15日現在 特別支援学級在籍の児童を含みます）